

ノムラの教え

弱者の戦略99の名言

監督の最大の仕事は危機管理

監督が選手と一緒にあって喜ぶのは、ムードを盛り上げ、チームに一体感を持たせるうえでは必要なことではある。だから、監督がそういう意図を明確に持っているなら否定しない。けれども、もしも本気で喜んでいるとしたら、監督失格というしかない。なぜなら、監督の最大の仕事は危機管理であるからだ。最悪の事態を想定し、どういう状況、条件が揃ったらそういう事態に陥るか、きちんと把握・認識するとともに、そうならないように対策を用意しておく——これは、プロ野球の監督だけでなく、すべてのリーダーが常に念頭に置いておかなければならないことであろう。

最悪の事態に直面してからあわてても、もはやどうにもならない。そうならないために、あらかじめそなえておくべきなのである。最悪の事態の想定なしでのチャレンジはたんなる無謀。最悪の事態への対策を用意してはじめて、大胆にチャレンジでき、冒険もできるのだ。

文・野村克也 text by Katsuya Nomura

Profile

1935年 京都府生まれ。
54年 京都府立峰山高校卒業。南海ホークス(現・福岡ソフトバンク)ヘテス生で入団。
4年目に本塁打王。65年 戦後初の三冠王(史上2人目)など、MVP5度、首位打者1度、本塁打王9度、打点王7度。ベストナイン19回、ゴールデングラブ賞1回。
70年 監督(捕手兼任)に就任。73年 パリーグ優勝。のちにロッテオリオンズ、西武ライオンズでプレー。
80年に45歳で現役引退。通算成績2901安打、657本塁打、1988打点、打率.277。
89年 野球殿堂入り。
90年 ヤクルトスワローズ監督に就任、4度優勝(日本一3度)。99年から3年間、阪神タイガース監督。
2002年から社会人野球・シダックスのセネラル・マネージャー兼監督。
03年 都市対抗野球大会で準優勝。06年度 東北楽天ゴールデンイーグルス監督就任。
09年度 退任。24年間の監督生活で1565勝1563敗。「生涯一捕手」が座右の銘。

